

第7回産学官連携推進会議ワークショップ

地域と中小企業に届く産学官連携

中小企業は、地域の活性化やイノベーション創出の担い手として、経済の持続的成長を牽引する重要な役割を果たしています。経営環境の大きな変化により、中小企業は、限られた経営資源のもとで機会を逃さず、短期間で事業展開を行うことが求められています。

このような状況にあって、中小企業自らが不足する経営資源を補完するために、産学官連携は有力な手段ではありますが、高度な技術を持つ一部の中小企業の例はあるものの、必ずしも多くの中小企業や地域の企業では、産学官連携は十分に活用されていないと思われます。

対応策として、従来の産学官連携が「大企業や一部の強い企業」「技術案件」「研究部門」「技術シーズの移転」をすべて満たすものが中心だったのを、「一般的な中小企業」「技術以外」「事業部」「現場発の課題対応」に広げる必要があり、大企業の産学官連携とは異なるモデルが必要と思われます。このような考えのもと、昨年来、全国の企業や支援機関の協力を得て、結果（売上）の出た産学官連携128例を集めて、分析を進めてきました。

本ワークショップではこれらを踏まえ、地域の企業や中小企業に寄与する産学官連携について議論を深めます。また、結果（売上）の出た成功事例の中から具体的に数事例をご紹介します。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時

開催日時：平成20年6月14日（土）11:45~12:45

場所：国立京都国際会館 Room D
〒606-0001 京都府京都市左京区岩倉大鷲町

主催：中小企業基盤整備機構

* 中小機構でこのほど取りまとめた、「128の成功事例集」を無料配布いたします。



プログラム（予定）

- 11:45-11:55 あいさつ：鈴木 孝男 中小企業基盤整備機構 理事長
11:55-12:05 導入：後藤 芳一 中小機構基盤整備機構 理事
12:05-12:15 事例1：株式会社イスマンジェイ
代表取締役社長 渡邊 敏幸氏 [神奈川県川崎市]
12:15-12:25 事例2：広島県立総合技術研究所食品工業技術センター
食品加工研究部部長 東 敏生氏 [広島県広島市]
12:25-12:35 事例3：株式会社アタゴ製作所
常務取締役 上西 正久氏 [群馬県みどり市]
12:35-12:45 まとめ：馬来 義弘 神奈川県産業技術センター 所長
中小機構基盤整備機構 チーフアドバイザー

ご参加いただくにあたって

- * 当日、どなたでもご参加頂けます。事前申し込み等は特に必要ございません。
- * 昼食などお持ち込みできます。
なお、お弁当の空箱やペットボトル等は必ずお持ち帰り下さい。
- * 会場の都合、ご用意できる席数に限り（定員300名）があります。
ご来場いただく時間によっては、お席をご用意できないこともございますので
あらかじめご了承ください。
- * 開場は、当日11時20分を予定しております。

お問い合わせ

独立行政法人中小企業基盤整備機構

新事業支援部 産学官連携推進課

担当：船田・古内・本村

電話：03-5470-1534 Fax：03-5470-1188

分科会「科学技術による地域イノベーション」（13：00～15：00）のお知らせ

1）中小企業による「つなぎ力」の強化

2）地域産学官連携の強化

中小企業の産学官連携の事例紹介等を通じて、大企業と比したときの中小企業の産学官連携の特徴を抽出し、産学官連携の意義と課題につき討議を行う。また、中小企業の新連携、モノ作り、農商工連携など新たな連携施策について紹介し、中小企業の「つなぎ力」の強化による可能性の広がりにつき議論する。

さらに、地域の産学官連携施策の現状（取組事例を含む）と課題及び地域におけるイノベーションの創出のための連携推進策のあり方（例：地域クラスターの更なる展開（地域間連携等）、組織の壁を越えた連携、地域の産学官連携を担う人材の発掘・育成・交流）について、パネリストからのプレゼンと討議を行う。

○主査

- ・原山 優子：東北大学大学院工学研究科 教授

○パネリスト

- ・中島 基善：ナカシマプロペラ（株） 代表取締役社長
- ・山田 廣成：（株）光子発生技術研究所 取締役、
立命館大学電子光情報工学科 教授
- ・古川 勇二：東京農工大学大学院技術経営研究科長
機械システム専攻教授
- ・山内 皓平：北海道大学 副理事、
創成科学共同研究機構 副機構長
- ・山岸 徹雄：信州スマートデバイスクラスター 事業総括
- ・福水 健文：中小企業庁 長官
- ・後藤 芳一：中小企業基盤整備機構 理事

